

mistone⁴⁰⁰ カンタン給水超音波式加湿器DKW-2440/WKD-1244

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意P. 1~2
各部の名称とはたらきP. 3~4
使用前の準備P. 5~6
正しい使いかた P. 7~10
お手入れと保存 P. 11~12
修理・サービスを依頼する前に P. 13~14
アフターサービスについて裏表紙
保証書裏表紙



仕 様

型 名	DKW-2440 / WKD-1244
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	26 W
加湿方式	超音波式
加湿性能	1時間あたり《急速》:約 400 ml、《強》:約 300 ml、《中》:約 200 ml、《弱》:約 100 ml、《微弱》:約 50 ml
連続加湿時間	約 10 時間(《急速》運転時)
水タンク容量	約 4.0L
電源コード長さ	約 1.8 m
外形寸法	約 幅 18.5 × 奥行き 18.5 × 高さ 32.5 cm
質 量	約 1.6 kg
付 属 品	取扱説明書・保証書×1、送風口カバー×1(本体に装着済)、水フィルター×1(本体に装着済)、フェルト× 4(1枚は本体に装着済)、掃除用ブラシ× 1(本体に装着済)



- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意


- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています(左図の場合は、「分解禁止」を示します)。
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します)。

警告

 禁止	交流 100 V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		内部に磁石が内蔵されているので、扱いには十分注意する。 ペースメーカーなど使用されている人は使用を控えてください。 磁気に弱いもの(磁気カードなど)の近くに置いたりしないでください。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 自分で意思表示ができない人、自分で操作できない人は、使用しない・使用させない。 けが・感電・やけどの原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。 感電の原因になります。	 ぬれた手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。	
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用しない。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	 指示		電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。

⚠ 注意

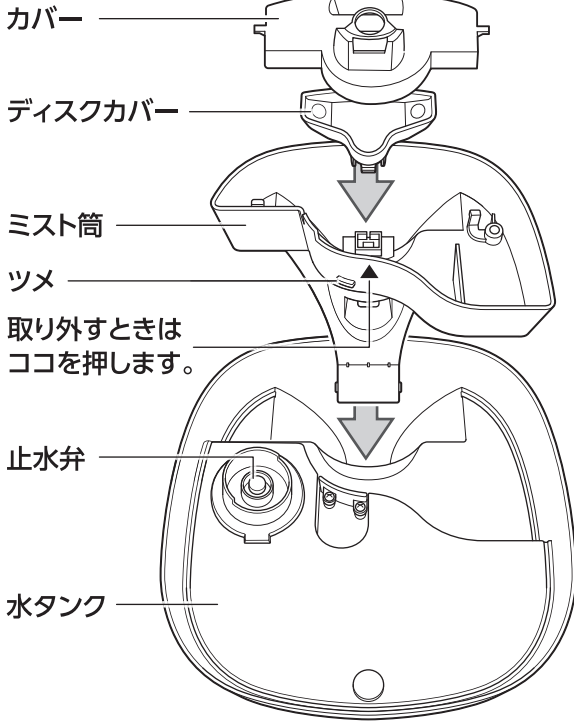
 <p>禁止</p>	<p>湿度の高いところ（85%以上）では使用しない。 室内を濡らしたり、故障の原因になります。</p>	 <p>禁止</p>	<p>お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>
	<p>ミストが直接、家具・壁・カーテン・天井などにあたる ところで使用しない。 家具・壁に染みがついたり、変形の原因になります。 本体を壁、家具、カーテン、寝具などから50cm以上離 してご使用ください。</p>		<p>本製品の近くに携帯電話やパソコンなどを置かない。 加湿器の運転中は、加湿器周囲の湿度が高くなりますので、 湿気に弱い携帯電話やパソコンなどの電子機器等は加湿器 の近くに置かないでください。 水道水に含まれるミネラル分（カルシウム、マグネシウムな ど）がミストと共に空気中に放出され、水分が気化したあと、 白い粉状になって室内に拡散されます。人体には無害ですが 精密機器、電子機器などの故障の原因になりますので、ホコ リや汚れに弱い機器のあるところでは使用しないでください。</p>
	<p>犬やネコなどのペットのためには使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になり ます。</p>		<p>本体を傾けない。 水タンクに水を入れたまま本体を傾けると、水がこぼれる原 因になります。</p>
	<p>傾いた場所や棚などの高い場所、不安定な場所には置か ない。 転倒すると、本体の破損・やけど・けがの原因になります。</p>		<p>電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持た ずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。</p>
	<p>ミスト口に指を入れない。 けがの原因になります。</p>	 <p>指示</p>	<p>本製品を使用しないときは、水を捨てる。 使用しない水をそのままにしておくと、カビや雑菌が繁殖し 異臭の原因になります。 使用しないときは、水タンクと水槽の水を捨ててください。</p>
	<p>ミスト口をふさがない。 変形・故障の原因になります。</p>		<p>水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。 本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。 お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビ や雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっ ては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合 は、医師に相談してください。</p>
	<p>水道水以外は使用しない。 一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しに くいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井 戸水、浄水器の水を使用すると、カビや雑菌が繁殖しやす くなったり、水アカが多くなったりして、異臭の原因になり ます。</p>		<p>本体の水を捨てるときは、排水方向の矢印方向から捨てる。 他の方向から水を捨てる、送風口に水が入るなど、故障の 原因になります。</p>
	<p>お湯は使用しない。 40℃以上のお湯を使用すると、変形・誤動作の原因になり ます。</p>		<p>凍結に注意する。 凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨てる。</p>
<p>アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対に入れない。 本体の破損・故障の原因になります。</p>	<p>本製品はテレビ、ラジオなどから2m以上離して設置する。 雑音の原因になります。</p>		
<p>次亜塩素酸水、次亜塩素酸ナトリウムは絶対に入れない。 本体の破損、故障の原因になります。人体に害を及ぼすこ とがあります。</p>			
<p>本体をカーペットなどの柔らかい繊維の上に直接置いて使用 しない。 吸気口がふさがり、故障・水漏れの原因になります。</p>			

各部の名称とはたらき

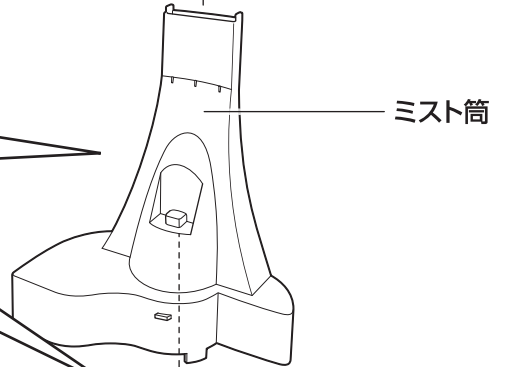
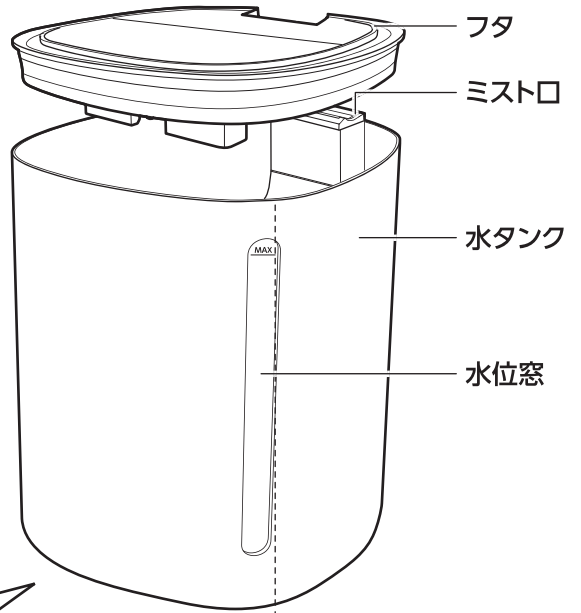
本体前面

※ミスト筒を取りはずすときは、ミスト筒のツメの上の部分の内側へ押ししてください。

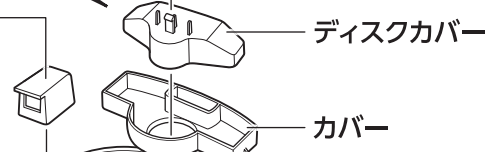
ミスト筒・ディスクカバー・カバーは水タンク底面に取り付けられています



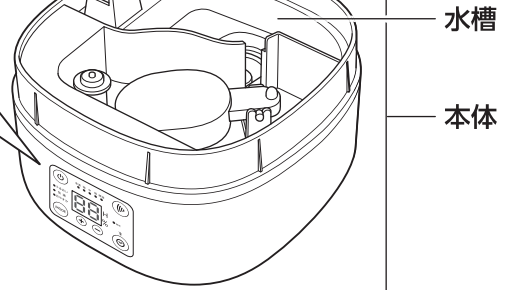
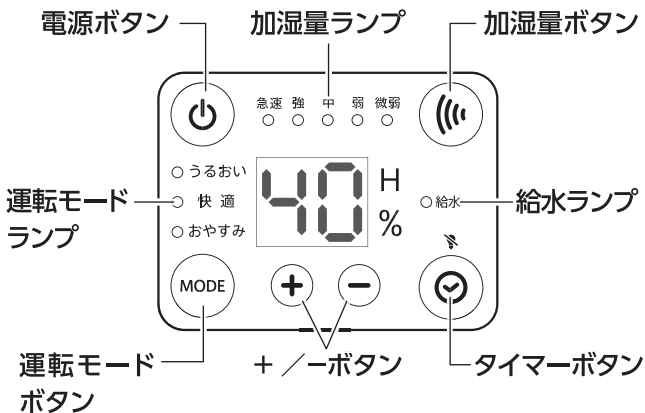
水タンク底面



送風口カバー
本体の送風口の穴と合わせて取り付けておきます



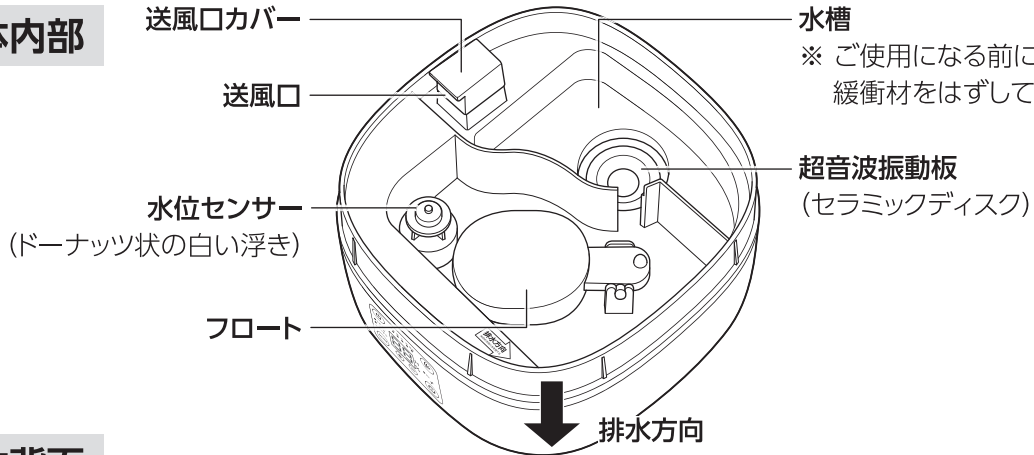
操作部



<水タンクの分解方法>

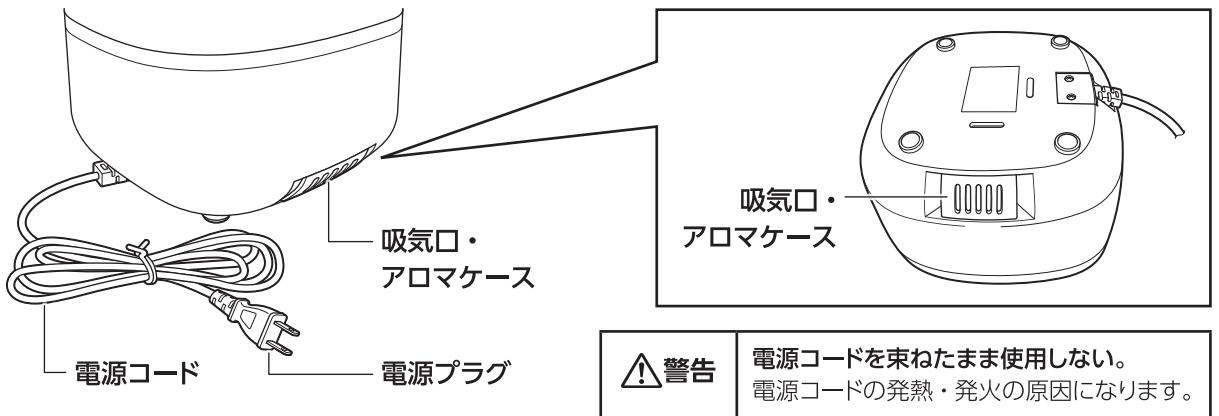
- ① ミスト口をはずし、水タンクを裏返す。
- ② ミスト筒をはずす場合は、ミスト筒のツメの部分に▲マークの方向へ押し、上へ引き上げるとミスト筒がはずれます。

本体内部

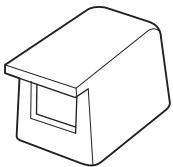


※ ご使用になる前に、水槽内の緩衝材をはずしてください。

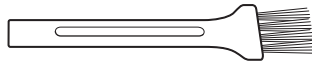
本体背面



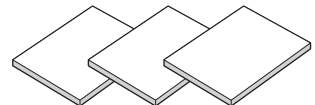
付属品



送風口カバー×1
(本体に取付済)



掃除用ブラシ×1
《フタのウラに取付済》
※ お手入れのときに使用します



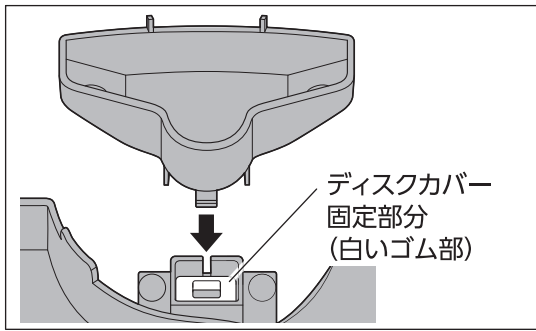
交換用フェルト×4
(1枚は本体アロマケースに装着済)

注意

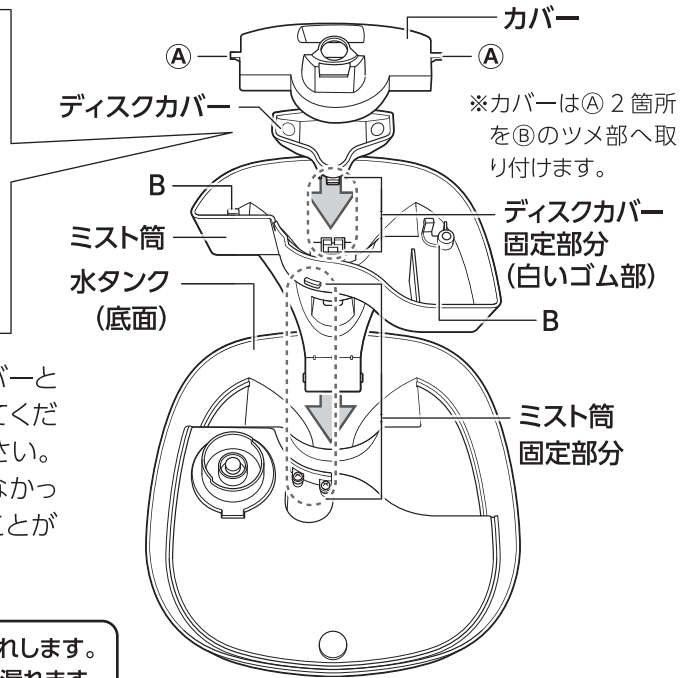
- 本体の水がたまる部分にある水位センサーのフロート（ドーナッツ状の白い浮き）が上下に動くことを確認する。
張りついた状態では給水ランプが誤点灯することがあります。
- 給水、排水するときや掃除をするときは送風口や各種ボタンに水が入らないようにする。
故障の原因になります。
- アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対入れない。
本体の破損・故障の原因になります。
- 本体を移動させるときは、先に水タンクをはずし、本体の水を捨てる。
水タンクおよび本体の水がこぼれる原因になります。
- 本体の水を捨てるときは、排水方向から捨てる。
他の方向から水を捨てる、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。

使用前の準備

1. 水タンクにミスト筒・ディスクカバー・カバーが正しく取り付けられていることを確認する



水タンクにミスト筒が、ミスト筒にディスクカバーとカバーが正しく取り付けられているか確認してください。はずれていた場合は、取り付けてください。
※ 初めて使用するとき、長期間使用していなかったときや、輸送した場合など、はずれることがありますので、必ず確認してください。

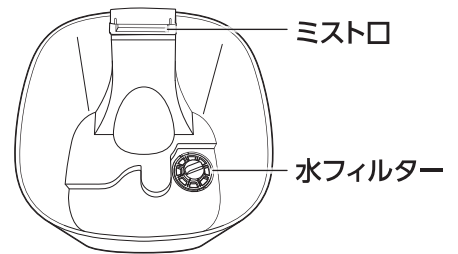


注意

- ・ミスト筒を取り付けずに運転すると水漏れします。
- ・カバーを取り付けずに運転するとミストが漏れます。

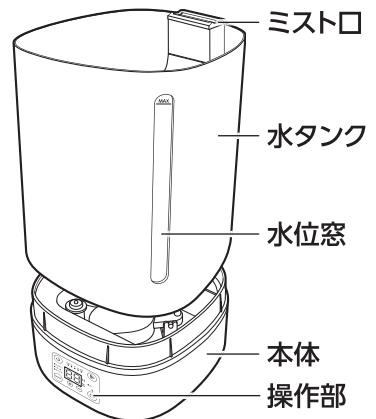
2. 水タンクに水フィルターが取り付けられていることを確認する

水フィルターを右に回し、水タンク底面にしっかりと取り付けられていることを確認してください。



3. 水タンク・ミスト筒にミスト口が取り付けられていることを確認する

ミスト口がミスト筒にしっかりと差し込まれていることを確認してください。はずれていた場合は、ミスト筒にまっすぐ押し込んで取り付けてください。



4. 本体に水タンクを確実に取り付け、水平な場所に設置する

操作部の右上に水位窓が来るようにして、水タンク底面と本体側の凸凹に気を付けて取り付けてください。



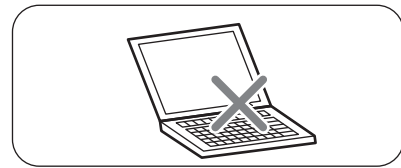
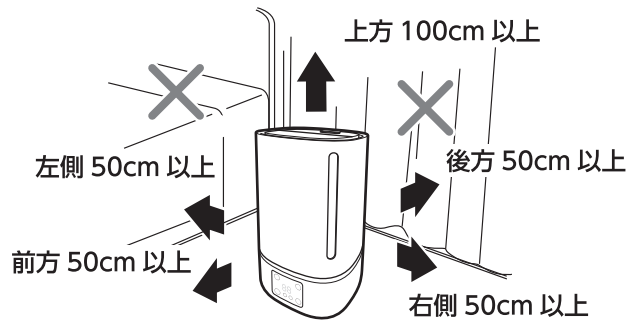
注意

- テレビ、ラジオなどから2m以上離して設置する。雑音の原因になります。

本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。

本製品の設置は以下の点に注意してください。

- ミスト口を壁、寝具、カーテン、家具に向けないでください。
- じゅうたんなど毛足の長い布の上には置かないでください。吸気口がふさがり、本体の故障、周囲への水漏れの原因になります。
- 本製品を使用すると、水道水に含まれるミネラル分などがミストと共に空気中に放出され、水分が気化したあと、白い粉状になって室内に拡散されます。近くに置いた家具や電子機器などに付着し、白い汚れになったり、機器の機能に悪影響を与えてしまいますので、設置場所には十分注意してください。
- 本製品の近くには携帯電話、パソコンなど湿気に弱い電子機器、精密機器は絶対に置かないでください。



5. 給水し、フタを取り付ける

水タンクの上から、ペットボトル、やかんや水差しなどを使用して、きれいな常温の水道水を入れてください。

※ 水を入れる上限は、水位窓の MAX 線より下の水位で使用してください。

給水後、フタの穴をミスト口に合わせて、フタに浮きがないように取り付けてください。



注意

- 水タンクに直接水道蛇口から給水しない。
- 水道水以外の水は使用しない。

6. 電源プラグをコンセントに差し込む



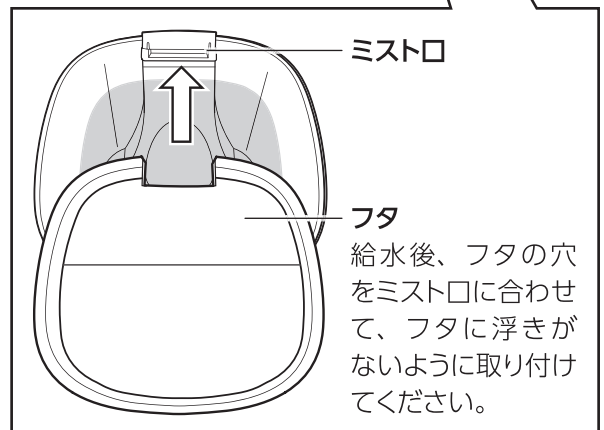
注意

- 電源コードを本体の下に通さない。火災・事故・感電の原因になります。
- 水タンクが確実に取り付けられていないと、動作しません。



警告

- 電源コードを束ねたまま使用しない。電源コードの発熱・発火の原因になります。
- 外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。事故・火災の原因になります。



正しい使いかた

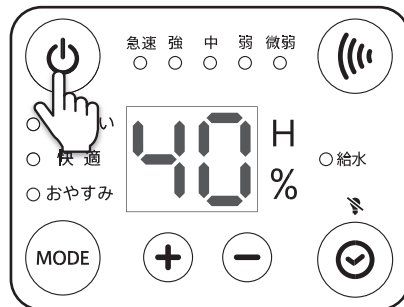
運転を開始する

電源ボタン を押して電源をオンにする

電源をオンにすると、表示部に現在湿度が表示されます。

運転の準備 水タンクに水がないときに電源プラグを差すと、給水ランプが点灯し、ブザーが5回鳴ります。水が行きわたると給水ランプが消灯します。(水が行きわたるまで約15秒かかります)

運転開始 給水ランプが消灯して運転モードランプの「急速」が点灯し、運転を開始します。



※ 本機の湿度表示は、本機内部に湿度センサーを取り付けておりますので、本機内部の湿度を表示しており、お部屋等の別の湿度計と表示値が異なることがあります。

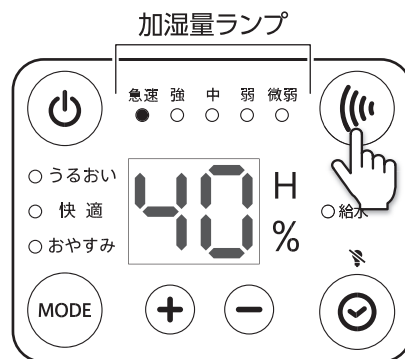
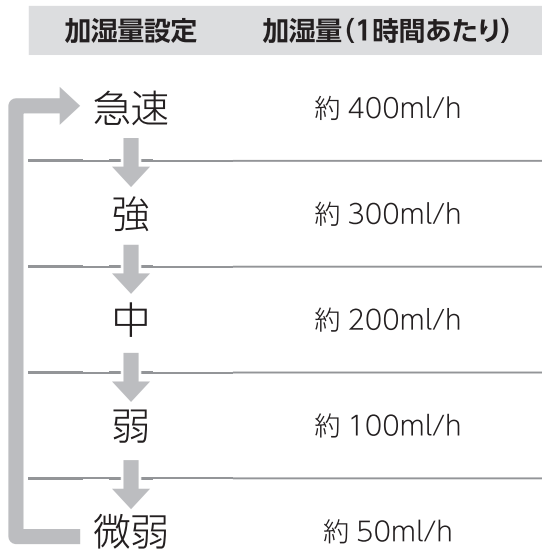
ポイント




- 運転中に水タンクを取りはずすと、安全装置が働き運転が停止します。
- 水タンクが確実に取り付けられていないと、動作しません。
- 本体の操作をしてから約1分経過すると、自動的に点灯しているランプや表示部が減光します。再度、ボタンを押して操作すると、ランプや表示部の明るさが通常の状態に戻ります。

マニュアル運転モードで使用する 加湿量を手動で調整して運転します。

加湿量ボタン を押してお好みの運転モードに切り替える

ボタンを押すごとに以下の順番で加湿量が切り替わります。



- ※ 「急速」運転選択時は、約10分間「急速」運転をしたあと、「強」運転に自動的に切り替わります。
- ※ 「急速」運転を連続して使用する場合は、加湿量ボタン()とタイマーボタン()を同時に長押しします。連続運転時は「急速」ランプが点滅します。連続運転を解除するときは、加湿量ボタン()、運転モードボタン、電源ボタンのいずれかを押しします。

⚠ 注意

「急速」運転を連続で行うと加湿器の周囲が濡れますので、人のいないお部屋や就寝時には、絶対に使用しないでください。

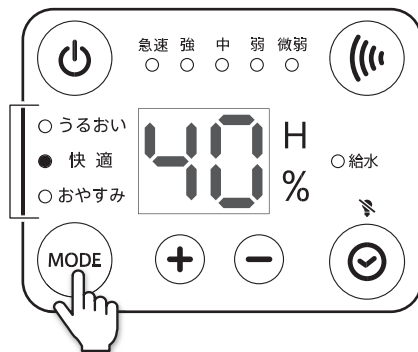
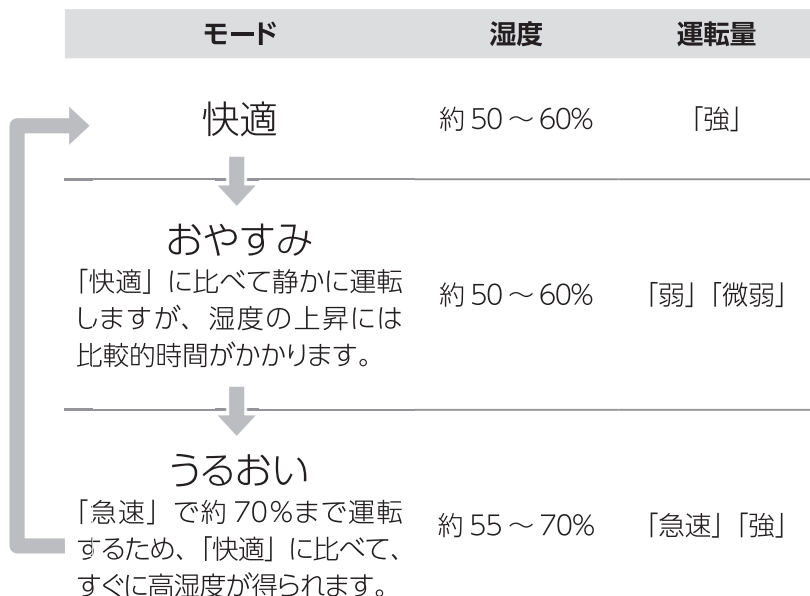
ポイント

冬場に就寝する際、暖房器具を止めてしまうと室温が徐々に低下し、空気が保水できる量が下がってくるため、加湿器のミストが空気中に拡散されにくくなります。拡散されないミストは、粒のまま自重で落ちて霧降が降ったように床がしっとりと濡れます。長時間続くと水漏れしたように水溜りとなることがあります。冬場の就寝時には、自動運転モードの「おやすみ」、またはマニュアル運転モードの「微弱」にするか、状況によっては使用を停止してください。また、タイマー運転の併用をおすすめします。

自動運転モードで使用する 設定された湿度に自動で調整します。

運転モードボタンを押してお好みの運転モードに切り替える

運転モードボタンを押すと、運転モードランプが点灯します。運転モードボタンを押すごとに以下の順番でモードが切り替わります。 運転モードランプ



●各モードの湿度の設定や運転量設定などは変更することができません。

ポイント

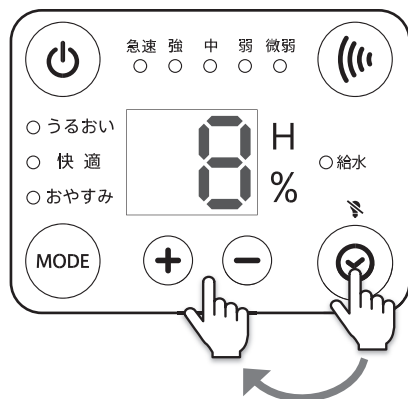
- 現在の湿度が自動運転モードの設定湿度に達すると、自動的に運転を停止します。
- マニュアル運転モードから自動運転モードに切り替えた場合、現在の湿度が自動運転の設定湿度に達している場合、運転は停止します。

切タイマーを設定する

切タイマーを 1 ~ 8 時間の範囲で設定することができます。

タイマーボタン を押したあと、時間表示が点滅している間に + / - ボタンでタイマーを設定する

- 切タイマー設定後、表示部にタイマーがはたらくまでの時間と周囲の湿度が交互に表示されます。時間の経過とともに、切タイマーがはたらくまでの時間の表示が変化します。
- 切タイマー設定をオフにするときは、「0H」に設定後、湿度表示に変わるまでしばらくお待ちください。
- 切タイマーを設定したあと、再びタイマーボタンを押すと、タイマー時間を変更することができます。



設定可能範囲：1 ~ 8 時間
「0H」に設定するとタイマーオフになります。

正しい使いかた (つづき)

運転を停止する

1. 電源ボタン を押して電源をオフにする

表示部と表示ランプが消灯し、加湿運転が停止します。
その後、約 1 分間送風運転が行われたあと完全に停止します。

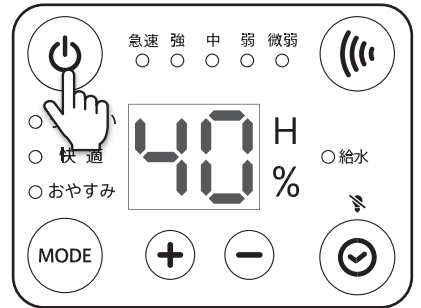
2. 電源プラグをコンセントから抜く



警告

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
火災や故障の原因になります。

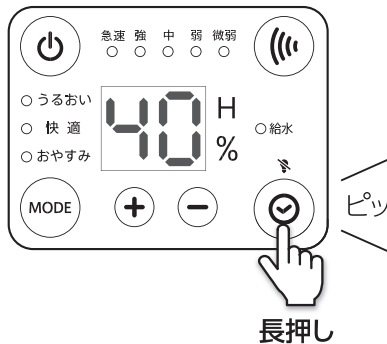
- 長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。待機電力が発生しなくなり、省エネになります。
- 運転中に、停電や電源プラグが抜けたときは、始めから操作をやり直してください。運転が停止し、すべての設定が解除されます。



ランプや表示部を消灯する(消灯モード)

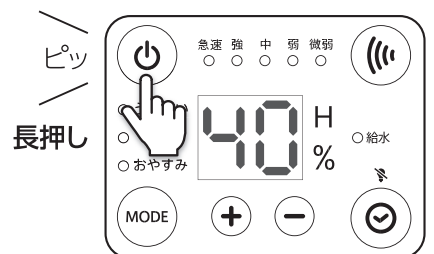
本体の LED ランプがまぶしいときは、タイマーボタンを長押しすると、ランプや表示部を消灯することができます。
再度点灯したいときは、いずれかのボタンを押して操作します (操作したボタンの動作が反映されます)。

- 水槽の水が少なくなった場合は消灯モード時でも給水ランプが点灯します。



操作音を無音にする(消音モード)

運転中に電源ボタンを長押しすると、操作音を消すことができます。
解除したいときは、運転中に再度電源ボタンを長押しするか、電源プラグをコンセントから抜きます。

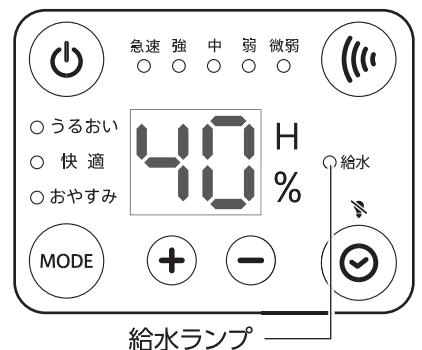


運転中に給水ランプが赤色に点灯したとき

給水ランプが赤色に点灯したときは、水タンクの水が足りなくなっていることを示しています。

1. 水タンク、水槽内の水が少なくなると、給水ランプが赤色に点灯してブザーが 5 回鳴り、加湿運転を停止します。
(運転停止後、戻り水により、給水ランプが消えることがあります)
2. フタをあげ、上部からペットボトルなどを使用して、新しい水道水を入れてください。
3. 水タンクより本体に水が行きわたりますと、給水ランプが消灯します。

 電源ボタンを押して、運転を開始してください。



アロマケースの使いかた

1. 本体に取り付けられているアロマケースを引き出す

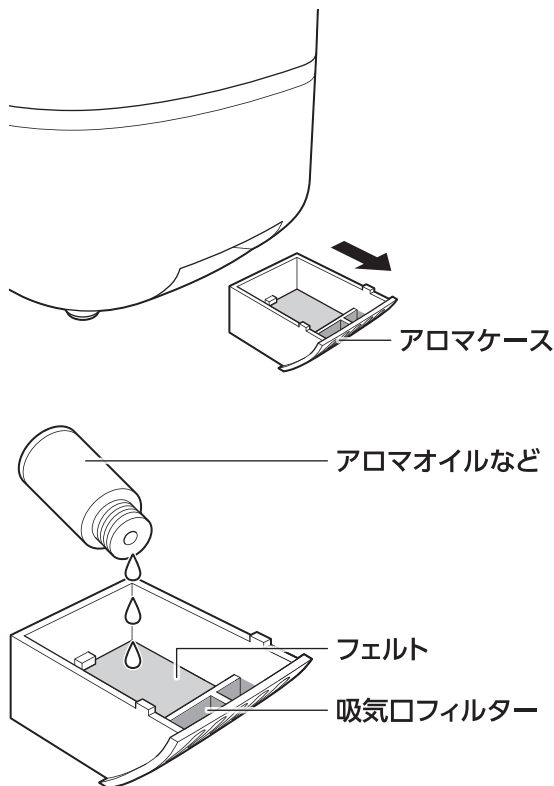
2. アロマケースに取り付けられているフェルトにアロマオイルを染み込ませる

アロマケースにフェルトが取り付けられていることを確認してください。市販の『アロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイル』（以下、アロマオイルなど）を外側にこぼれないよう注意しながら2～3滴フェルトに染み込ませます。次にアロマケースを本体の奥までしっかりと差し込みます。

3. 運転を開始する

7ページ「運転を開始する」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ加湿をお楽しみいただけます。

アロマオイルなどを入れない場合は通常の加湿器としてご使用いただけます。



フェルトの交換

- ※ フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルなどを使用するときは、フェルトを交換してください。
- ※ フェルトはご購入時にアロマケースに取り付けられているもの以外に付属品として3枚付属しています。
- ※ フェルトは洗って再使用することができません。
- ※ フェルトはアロマケースのツメの下になるように装着してください。
- ※ アロマケースは食器用中性洗剤などで洗い、水をよくふきとってから、取り付けてください。
- ※ 交換用のフェルトは別売しております。

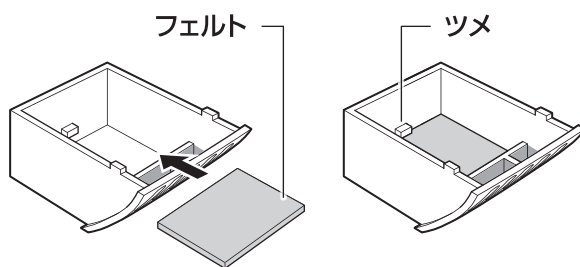
交換用フェルト

商品名 フェルト(4枚) 型番 AF-KWT401

ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。



ドウシシャマルシェがご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（→裏表紙）へお問い合わせください。



アロマケースのくぼみから浮き・はみだしがないようにツメの下に取り付けてください。出し入れするときに引っ掛かるおそれがあります。

アロマオイルなどについて

取り扱いについては、アロマオイルなどに付属の取扱説明書をご覧ください。

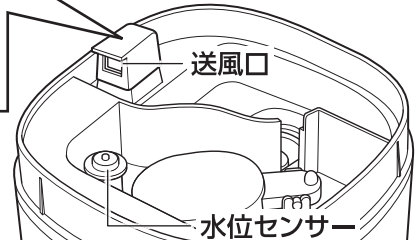
お手入れと保存

お手入れ時の注意

お手入れ時は、送風口カバーを使用してください。

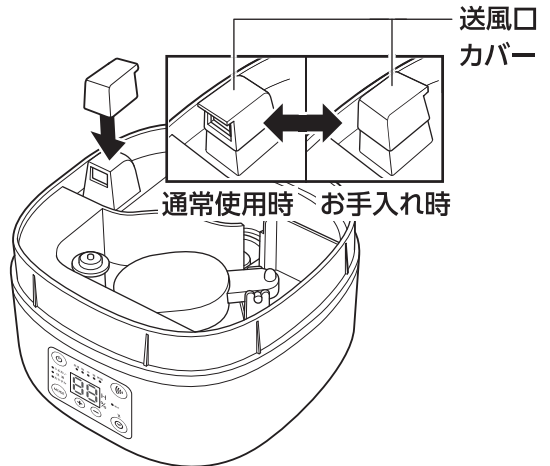
加湿運転時には中にあるファンモーターが回り、送風口から風が出て、発生したミストを上へ吹き上げます。

ここに水を掛けないこと!!
中に水が入ると、ミストを吹き上げるファンモーターが壊れてしまいます。



送風口カバーを回転させる

お手入れする前に、本体に取り付けられている送風口カバーを 180 度回転させて、送風口から水が入らない状態にしてください。お手入れ終了後、送風口カバーを元に戻してください。



注意

- お手入れ終了後は、必ず送風口カバーを 180 度回転させて、送風口が開いている状態にしてください。
- お手入れの際、水位センサーキャップを必ず最後まで軸に差し込んでください。キャップが浮いていると水位センサーが誤作動して、給水ランプが点灯し、動作しなくなります。

本体のお手入れ (週に 2 回以上)

本体に残っている水をきれいに捨ててください。

※ 水を捨てるときは、必ず排水方向から捨ててください。

排水方向以外から水を捨てると、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。

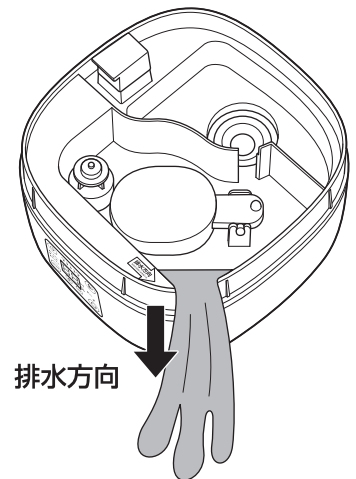
通常のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤 (柑橘系を除く) に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください (強くこすらないでください。傷つきの原因になります)。

• 本体底面の吸気口・アロマケース・吸気口フィルターのホコリを掃除機などで清掃してください。

• 水を捨て、水滴をふきとり、よく乾燥させてください。

※ お手入れをするとき、オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用中性洗剤を使用しないでください。プラスチックを変色・変質させる原因になります。



注意

- 水槽の水を捨てるときは、排水方向矢印の方向から捨てる。他の方向から水を捨てると、送風口や操作部に水が入るなど、故障の原因になります。
- 加湿器をご使用後、水タンクを取り外す際はミスト筒内の水が垂れますので、タオルなどを用意してください。



警告

- 必ず運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて、水槽の水を捨ててからお手入れを行う。感電・やけど・けがの原因になります。
- 清掃後は、必ず各部品を元通りに取り付ける。やけど・けが・故障の原因になります。

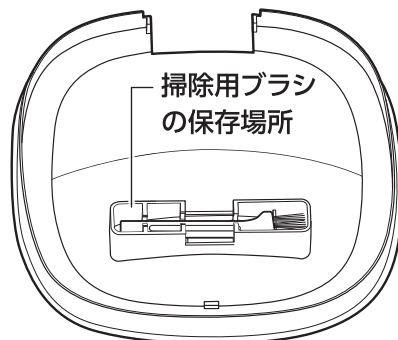
水タンクのお手入れ (週に 2 回以上)

水タンクの内側と外側をきれいに洗ってください。

本体以外、すべて丸洗いできます。

- ・ ミスト筒などは水タンクから取りはずすことができます。洗って十分にすすぎ、乾燥させたあと、元通りに組み立ててください。
- ※ フタの裏側に掃除用ブラシが取り付けられています。

掃除用ブラシはフタの裏側に取り付けて保存し、次回お手入れ時に使用してください。



注意 分解したときは、必ず元通りに組み立ててから使用する。故障の原因になります。

<ミスト筒の取り付け・取りはずし方法>

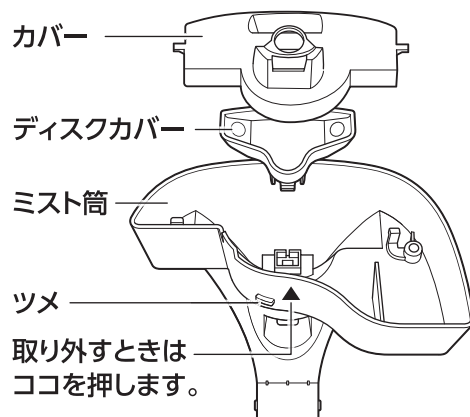
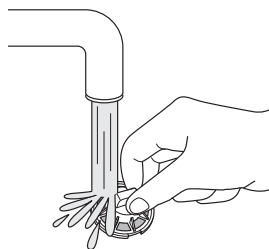
- ① ミスト口をはずし、水タンクを裏返す。
 - ② カバーを引き上げて取りはずす。
 - ③ ディスクカバーを引き上げて取りはずす。
 - ④ ミスト筒のツメの上部を軽く押しながら引き上げて取りはずす。
- お手入れのあとは、分解時と反対の手順で組み立ててください。

<水フィルターのお手入れ>

水フィルターは、水タンク底面に取り付けられています。カチッと音がするまで反時計回りに回すと取りはずすことができます。

十分に水洗いをして、メッシュ網の汚れを落としてください。

お手入れのあとは、元の位置にあるツメと水フィルターの溝を合わせてから、時計回りに回して固定してください。



保存のしかた

「本体のお手入れ」「水タンクのお手入れ」に従ってお手入れ・清掃したあと、本体内部の水分をよくふき取り、陰干して十分に乾燥させてください。ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ないところに保存してください。



- ・ ベンジン・シンナーではふかない。
変色・変形の原因になります。
- ・ オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。
変色・変形の原因になります。
- ・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。
変色・キズの原因になります。
- ・ 水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。
お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。その場合は、医師に相談してください。
- ・ 水道水以外は使わない。
一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水は水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。必ず、きれいな水道水をご使用ください。
- ・ ジュースなどの飲料水、温水 (40℃以上)、化学薬品、芳香剤 (アロマオイルなど)、洗剤を入れた水などは絶対に使用しない。
水タンクや本体が故障する原因になります。

修理・サービスを依頼する前に



警告 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	•電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかりと差し込む
	•水タンクが本体に確実に取り付けられていない	水タンクを確実に取り付ける
加湿しない、または加湿量が少ない	•給水ランプが赤色に点灯している	水タンクに水がない場合は給水する
	•超音波振動板（セラミックディスク）が交換時期になっている ※ 超音波振動板（セラミックディスク）の耐久時間は約 3000 時間です。	耐久時間を超えるとミストの発生量が少なくなったり、発生しなくなります。超音波振動板（セラミックディスク）の交換が必要です。ドウシシャお客様相談室へご相談ください（交換は有償となります）
	•自動運転モードで設定した湿度に達している	湿度が下がると運転を開始します。またはマニュアル運転モードで使用してください
	•水フィルターが汚れている	水フィルターをお手入れする
給水しても給水ランプが赤く点灯する	•水タンクが本体に確実に取り付けられていない	水タンクを確実に取り付ける
	•水フィルターが汚れている	水フィルターをお手入れする
においがでる	•水道水以外を使用している	水タンク、水槽に残っている水を捨て、「お手入れと保存」に従って掃除する
	•水タンクに水を入れてから長時間経過している	水タンクに残っている水を捨て、「お手入れと保存」に従って掃除する
操作部ランプ・表示部が暗い	•最後に操作してから約 1 分が経過し、減光モードになっている	電源ボタン以外の操作ボタンが押されると、減光モード・消灯モードが解除され、元の明るさに戻る
操作部ランプ・表示部が点灯していない	•消灯モードになっている	
表示部にエラー表示 E3 が出る	•E3：ファンモーターの回転数が低下している。送風口から水が入った恐れがあります。	電源コードをコンセントから抜き、本体水槽および水タンクの水を捨てる 本体に水が入った恐れがあるので、本体を振って内部の水を排出し、本体を十分に乾かした後、動作させる 再び E3 エラー表示が出る場合はドウシシャお客様相談室にご相談ください
水タンクにヒビがある	•水タンクにアロマオイルなどを入れている	水タンクにアロマオイルなどを入れると水タンクにヒビが発生します。水タンクを交換してください（交換は有償となります）
水漏れする	•水タンク止水弁（ゴム弁）にごみ等の異物がはさまっている	水フィルターをはずして止水弁（ゴム弁）を確認し、異物を取り除いて水タンクを掃除する

長年ご使用の加湿器はよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

アフターサービスについて

●製品の保証について

1. この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入の日から 1 年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●修理を依頼されるときは

⚠ 警告

- 故障のときは、ただちに使用をやめてコンセントから電源プラグを抜き、ご購入の販売店にこの製品をお持込みのうえ修理をお申しつけください。
- ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

アフターサービスについてわからないことは…

ご購入の販売店、またはドウシシャお客様相談室にお問い合わせください。

製品についてのご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

ドウシシャ福井カスタマーセンター

☎ 0120-104-481

【受付時間】 9:00～17:00 (祝日以外の月～金曜日)
〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<https://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance/>



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**

DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>

